



# 小城市立歴史資料館 ✨ 中林梧竹記念館だより

## 小城市立歴史資料館テーマ展 「肥前千葉氏の足跡」が開催中です

肥前千葉氏は、現在の小城市を本拠地に南北朝時代から戦国時代にかけて佐賀県の中枢部に大きな勢力を持ち、小城の地に歴史・文化の面で大きな足跡を残しました。

今回は千葉氏をテーマにした展示を行います。

- ◆期間 ~8月21日(日)
- ◆場所 歴史資料館 常設展示室
- ◆観覧料 無料



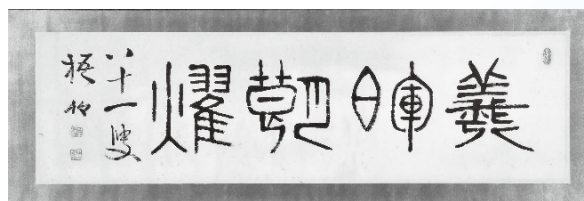
◀展示の様子

## 令和4年度 中林梧竹記念館 第1期収蔵品展 「額の名品」開催中です

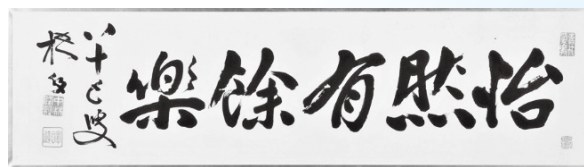
中林梧竹の額の名品を展示し、梧竹の書歴をたどります。

梧竹翁は、小城出身で、明治から大正期にかけて書家として活躍し「書聖」と呼ばれています。

- ◆期間 ~7月31日(日)
- ◆場所 中林梧竹記念館 常設展示室
- ◆観覧料 200円(大学生以下無料)



◀展示作品



## おぎの歴史 ✨ 探検隊

### 長崎を往復した小城藩主 — 『長崎御往来日記』(その3)

文政7(1824)年5月、佐賀藩主の代理で、長崎警備の巡見<sup>なごり</sup>に長崎へ赴いた小城藩主鍋島直堯<sup>なごり</sup>一行は、5月15日午前8時頃、長崎港を出港しました。

長崎港の入り口にある戸町、西泊番所を訪ねたほかは強風のため船上からの「御見渡し」にとどめた、とあります。

午前9時頃巡見を終えた一行は、長崎奉行に挨拶を済ませ、午後2時頃長崎を出発しました。長崎滞在は1泊2日という慌ただしい日程でした。

帰りの道中、鹿島では実姉で鹿島家に嫁いでいた、於篤<sup>おあつ</sup>と面会します。

17日、直堯が鹿島の濱宿に滞在中、鹿島鍋島家から女性の使者が訪ねてきました。明朝出立の時、中川新御茶屋(現在の鹿島市役所付近)で面会をし

たいので立ち寄って欲しいという、於篤の意向を伝えてあります。於篤は直堯と母を同じくする1歳上の姉で、文化13(1816)年、鹿島藩主鍋島直彝<sup>なごり</sup>に嫁ぎました。鹿島錦を考案した人物としても知られています。

直堯は、面談を承知し使者を帰します。翌日午前7時頃、濱宿を発ち中川新御茶屋に立ち寄り、於篤と直彝夫妻との面会を遂げます。

その後出立し、同日午後4時頃小城に到着し、7泊8日の長崎往復の旅は終わりました。文政7年は、7月、9月も佐賀藩主の代理として直堯は長崎に赴いています。(終) 小城郷土史研究会/著



▲於篤所用の手拭掛け  
小城藩家紋入

◆開館時間 9時~17時 ◆休館日 毎週月曜日・祝日 小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財 検索  
【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132